

Course number		U-LAS25 10003 SJ48					
Course title (and course title in English)		イタリア語 I B (文法) I1102 Italian IB		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer,KAWAI NARUO	
Group		Languages		Field(Classification)			
Language of instruction		Japanese		Old group		Group C	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2026・Second semester	
Days and periods		Tue.5		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
この授業は、大きく二つのことを目指しています。一つはイタリア語の初等文法を習得することによって、簡単なイタリア語の理解ができるようになることです。それは辞書を引きさえすればある程度の文章も読めるようになることでもあります。もう一つは、会話力を身に着けることです。イタリア語は日本人にとって大変聞き取りやすい言語であるというメリットがあります。簡単な文で自己表現をして、旅行程度では会話に困らない力をつけるようになります。							
[Course objectives]							
イタリア語の基礎的な文法知識を習得し、平易な文章ならば辞書を用いて「正確に」読解できるようになります。またイタリアを旅行する際に困らない程度のコミュニケーション能力を身につけます。							
[Course schedule and contents)]							
おおよそ以下のようなスケジュールで進みます。 状況に応じて、順序を入れ替えることがありますが、その場合は授業やLMSで指示をします 第1回～第14回 以下の文法事項について、1, 2週ずつで学びます。 近過去（助動詞avere/essereの使い分け, 過去分詞） 再帰動詞・代名動詞 半過去形 命令法 未来形 条件法 以下、時間が許せば、 ciとneの主な用法 siの用法 最後に、将来の自学自習のため、接続法など少し難しい文法についても手ほどきをします。 《期末テスト》 第15回 フィードバック							
----- Continue to イタリア語 I B (文法) I1102(2)↓↓↓							

イタリア語ⅠB（文法） I1102(2)

[Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Evaluation methods and policy]

期末試験の成績(80%)に平常点評価(20%)を加味して評価を行う。
平常点についての説明は、初回授業で行います。

[Textbooks]

『パッソ・ア・パッソ』（上記以外のテキストについては、教室で配布します。）

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

毎回必ず予習をしてください。
また、動詞の活用などについて小テストも適宜実施します。

[Other information (office hours, etc.)]

授業の前後に受け付けます。あるいは、質問が多い場合には、適宜Zoomを使用しての相談を、予約制により、個別に受け付けます。

[Essential courses]